

広島交響楽団

佐世保公演

～音楽が紡ぐ、平和への祈り～

平和への祈りと願いを込めて——
広島と長崎・佐世保が音楽で繋がる一夜



〈指揮〉下野竜也



©Mana Miki

〈ピアノ〉清水和音



プログラム

〈Z.コダーイ／下野竜也編〉ミゼレーレ

〈S.ラフマニノフ〉ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18

〈D.ショスタコーヴィチ〉交響曲第5番 ニ短調 op.47

2022.9.24(土) 開場18:15／開演19:00
アルカスSASEBO 大ホール

【全席指定】S席5,500円 A席4,500円 B席3,500円 学生(小～大学生)各席2,000円 ※当日500円増

前売券取扱

アルカスSASEBO、チケットぴあ(Pコード:216-496)
ローソンチケット(Lコード:84931)、イープラス<https://eplus.jp>

アルカスクラブ先行発売:6月25日(土)
一般プレイガイド発売:7月2日(土)

※感染症対策を講じ、収容率100%で実施いたします。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※学生券をご購入のお客様へは、購入時および入場時に年齢の確認ができる証明書や学生証のご提示をお願いする
場合がございます。
※やむを得ず公演が中止または延期、出演者や曲目等に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

主催・お問合せ

アルカスSASEBO(佐世保市、公益財団法人 佐世保地域文化事業財団)
TEL0956-42-1111(第2・4水曜日 休館) <https://www.arkas.or.jp>



NBC Classic 文化庁



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

『ジャパネットの文化祭』
ジャパネットシート
5組10名様を無料ご招待

※応募詳細はコチラをご覧ください。



広島交響楽団 佐世保公演 ~音楽が紡ぐ、平和への祈り~

終戦から77年を迎えた2022年、国際平和文化都市・広島を拠点に活動する広島交響楽団をアルカスSASEBOのステージに迎えます。

20世紀前半の世界大戦の時代を音楽家として生きた3人の作品——コダーイ作曲・下野竜也編曲による祈りの音楽《ミゼレレ》、美しくも力強い旋律に明るい未来への勇気と希望を感じるラフマニノフの名曲《ピアノ協奏曲第2番》、

国家権力に翻弄され激動の人生を送ったショスタコーヴィチの平和へのメッセージが隠された《交響曲第5番》を、祈りを込めてお届けします。音楽の持つ力を感じ、音楽が与えてくれる感動を共有し、このコンサートを通じて共に平和を祈る一夜をみなさまと過ごせることを願います。



Conductor
Tatsuya SHIMONO

〈指揮〉下野竜也

広島交響楽団音楽総監督。

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブルールフィル、ポルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコ・フィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響、バルセロナ響など々と客演を重ねている。これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者、同団首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同団常任首席客演指揮者を歴任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。

これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年(第67回)南日本文化賞特別賞、2021年NHK交響楽団第41回「有馬賞」などを受賞。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。 公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



Piano
Kazune SHIMIZU

〈ピアノ〉清水和音

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーブ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開き、高い評価を得た。1983年、第9回日本ショパン協会賞を受賞。同年「ブラハの春音楽祭」にて、ブラハ室内管と共演。この成功により1984年、プラティスラヴァ音楽祭のオープニングでスロヴァキア・フィルのソリストとして招待された。また同年、ミュンヘンのヘラクレス・ザールでデビュー・リサイタルを行った。ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団、ジャンドレア・ノセダ指揮キエフ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、アシュケナージ指揮シドニー交響楽団などと共演を重ね、国内外で広く活躍。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。1995年秋から2年にわたって行われた、ベーターヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音が発行されている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は春秋・年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。スカラッチェとバッハに始まり、古典派からロマン派を中心に20世紀のピアノ曲まで、幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、パティストーニの指揮で、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇プランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。桐朋学園大学・大学院 教授。



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

〈管弦楽〉広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace～音楽で平和を～」を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和のタベ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。

1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。

学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「ENEOS音楽賞(奨励賞)」ほか受賞歴多数。 公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

関連企画 パネル展「Message of Peace from ARKAS SASEBO」

9月24日(土)午後～9月27日(火)14時頃まで アルカスSASEBO 交流スクエア

県内の自治体・団体・企業などが行っている平和活動を紹介するパネル展を開催。詳細は随時HPでご案内します。

アルカスSASEBO 〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町2-3
TEL0956-42-1111 FAX0956-24-0051

JR 福岡←(約110分)→佐世保駅
長崎←(約90分)→佐世保駅 ※佐世保駅から徒歩約3分
バス 福岡←(約120分)→佐世保
長崎←(約90分)→佐世保
車 西九州自動車道 佐世保みなとICから約5分
佐世保中央ICから約5分

